

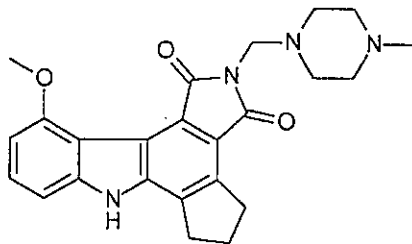
特開 2016-014029 2016年1月28日	C07D 487/04 A61K 31/496 A61P 25/00 A61P 35/00 A61P 43/00	多環系化合物の新規形態 【要約】 【課題】多環系化合物の新規形態を含有する組成物、及びその薬学的組成物 【解決手段】下式で表される化合物の新規な3つの結晶形態、及びそれらの結晶形態の混合物を有する薬学的組成物又は前記化合物の非晶質である化合物を有する薬学的組成物。	セファロン、インク。 ピ ⁺ エルマイヤー、ステイブ ⁺ ン クリステイ ⁺ 、マイケル クルホ ⁺ アジ ⁺ エ、ローラン フィールド ⁺ 、アール、スコット ハルチワ ⁺ ンカ ⁺ ー、アール、カーティス
特願 2015-151114 2015年7月30日 優(US)61/237,180 2009年8月26日			
分類	DAAA: 神経系に作用す	DADU: 抗しゅよう剤	

【特許請求の範囲】 請求項の数 7 (全 61 頁) 審査請求 有

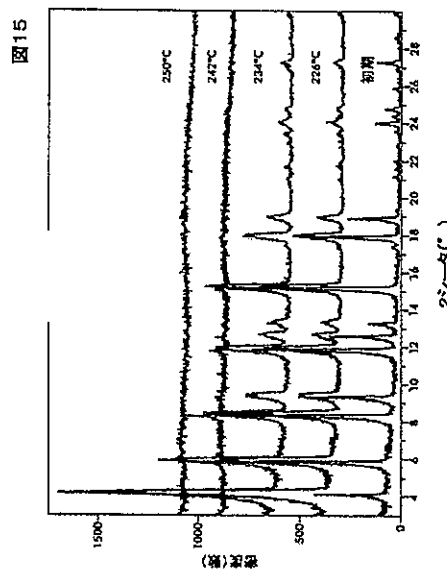
2016年1月28日発行

【請求項1】

以下の式を有する化合物 I の結晶形態であって、



【選択図】



前記結晶形態は、

(A)

a. 以下のピーク：4.32±0.2度2-シータ、6.07±0.2度2-シータ、8.55±0.2度2-シータ、12.07±0.2度2-シータ、及び15.37±0.2度2-シータを有するX線粉末回折パターンによって特徴付けされる形態A₀、または

(B)

a. 以下のピーク：8.36±0.2度2-シータ、8.71±0.2度2-シータ、16.69±0.2度2-シータ、17.39±0.2度2-シータ、及び24.59±0.2度2-シータを有するX線粉末回折パターンによって特徴付けされる形態HC₀、または

b. 以下のピーク：7.60±0.2度2-シータ、8.99±0.2度2-シータ、及び15.16±0.2度2-シータを有するX線粉末回折パターンによって特徴付けされる形態HD₀。

である結晶形態。

【請求項2】

前記結晶形態が形態A₀である、請求項1記載の化合物 I の結晶形態。

【請求項3】

前記結晶形態が形態HC₀である、請求項1記載の化合物 I の結晶形態。

【請求項4】

前記結晶形態が形態HD₀である、請求項1記載の化合物 I の結晶形態。

【請求項5】

請求項2～4のいずれか1つに記載の化合物 I の結晶形態またはそれらの混合物を有する薬学的組成物。

【請求項6】

前記薬学的組成物が前記結晶形態の混合物である、請求項5記載の薬学的組成物。

【請求項7】

前記組成物が非晶質の化合物 I を有する、請求項5または6記載の薬学的組成物。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、多環系化合物の新規形態（以後化合物 I とする）を含有する組成物、それらの再現性のある方法、及び化合物 I を有する薬学的組成（以下略）